



2012年7月10日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

6 月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の6月度受賞選手が決定いたしました。
受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

和田 一 浩 (中日ドラゴンズ)
初受賞

和田選手は、6月8日(金)の対東北楽天3回戦(ナゴヤドーム)、1対2と1点ビハインドで迎えた9回裏、一死二塁の場面で左翼席に劇的な逆転サヨナラ本塁打を放ちました。相手球団は1点リードを死守すべく守護神を投入し逃げ切りを図りましたが、その作戦を打ち砕きチームの連敗を「4」で止める、起死回生の一発となりました。和田選手の一発は、今シーズン・セ・リーグ初の逆転サヨナラ本塁打となります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

M. ホフパワー (北海道日本ハムファイターズ)
初受賞

ホフパワー選手は、6月16日(土)の対東京ヤクルト3回戦(札幌ドーム)、2対2の同点で迎えた9回裏一死満塁の場面で代打出場し、センターへサヨナラ犠飛を放ちました。この回の北海道日本ハムは、3安打を集めて満塁の好機を作り、ホフパワー選手の犠飛により、代走・西川選手がプロ入り初得点となる決勝のホームを踏みました。代打によるサヨナラ打は2012年パ・リーグ初。この勝利で北海道日本ハムのサヨナラ勝ちとは2012年シーズン4試合目で、NPB最多となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として今シーズン制定されました。「最後の一球まで何が起こるかわからない」と言われるプロ野球の象徴的なプレーであるサヨナラ打を称える本賞は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」を掲げているスカパー！ならではの賞です。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞」を制定しています。

以 上